



# 全国で増加傾向！ 新型コロナウイルス感染症

令和4年5月11日  
富山県感染症情報センター  
(富山県衛生研究所内)  
(0766-56-5431 直通)

## 感染症発生動向速報

(令和4年第18週分・5月2日～5月8日)

### 《インフォメーション》

#### ●新型コロナウイルス感染症

国内の新型コロナウイルス感染者数は、5月8日時点で8,082,469例となり、29,805例の死亡が確認されています。全国の感染者数は下げ止まり状態からやや増加傾向へと転じています(図;折れ線グラフ)。急激に感染が拡大した沖縄県をはじめとして、複数の地域で感染者数の増加が認められており、感染の再拡大が懸念されています。

県内の感染者数は3月上旬から緩やかな減少傾向を維持していましたが、新規感染者数は先週の782例(暫定値)から今週は872例

(暫定値)と、増加傾向となっています(図;棒グラフ)。県内で流行している変異株は、2月上旬には全てオミクロン株(BA.1系統)となっていました。現在、BA.1系統より感染力が高いとされているBA.2系統への置き換わりが進んでいます。富山県衛生研究所でのスクリーニングPCR検査では、4月下旬時点でBA.2系統疑い株が70%以上を占めています。ワクチン3回目接種によりBA.2系統に対しても発症予防効果が期待できることから、接種機会を得た12歳以上の方は速やかに接種することが推奨されます。

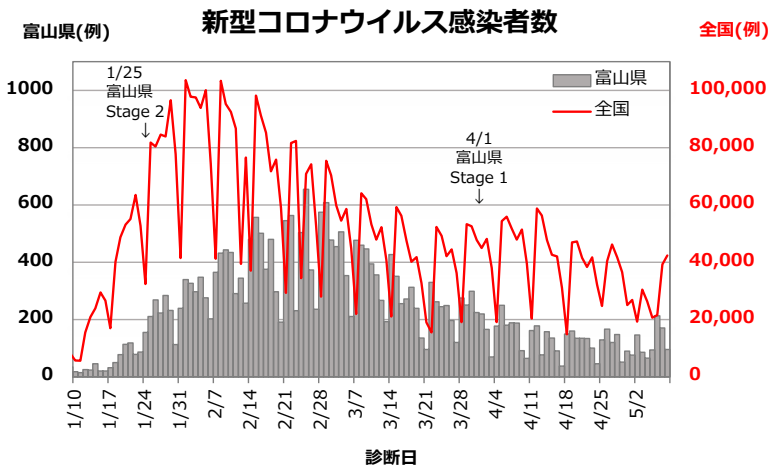
更なる感染拡大の防止のためには、ワクチンの追加接種や基本的な感染対策(手指消毒、正しいマスクの着用、十分な換気、対人距離を保つこと)の継続が必要です。体がだるい、熱がある、のどに違和感がある等の症状がある場合は、出勤や登校、外出や人と会うことを控え、速やかに医療機関に連絡のうえ、かかりつけ医等の指示に従ってください。相談する医療機関に迷う場合は、受診・相談センター(076-444-4691;24時間対応)にご連絡ください。また、ワクチン接種を受けられない方、感染している可能性に不安を抱える方などを対象にPCR等検査無料化事業が実施されています。詳しい内容は県HP(<https://www.pref.toyama.jp/1103/20211227pcr.html>)よりご確認ください。

### 《全数報告の感染症》

- 新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 872件(暫定値)
- 二類感染症 結核 3件(①第11週診断分:70歳代、男性 ②第17週診断分:40歳代、女性 ③80歳代、男性)
- 五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1件(70歳代、女性)
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件(80歳代、男性、A群)
- 侵襲性肺炎球菌感染症 1件(第17週診断分:50歳代、男性)

### 《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	4.31(↓)	7.90
2位	RSウイルス感染症	0.28(↓)	0.34
3位	手足口病	0.21(↑)	0.07
	突発性発しん	0.21(↓)	0.38
5位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.14(↓)	0.31
	流行性角結膜炎	0.14(↑)	0.00



○感染症発生動向調査報告状況（令和4年第18週 令和4年5月2日～令和4年5月8日）

分類	疾患	今週報告分（第18週）							累積報告数（令和4年第1週（1月3日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市 <sup>※1</sup>	その他 <sup>※2</sup>	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市 <sup>※1</sup>	その他 <sup>※2</sup>	計	
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	103	77	230	106	334 <sup>※1</sup>	22	872	2,495	2,305	6,374	2,439	14,507 <sup>※1</sup>	149	28,269	
二類感染症	結核			1				1	1	2	15	6	15		39	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症									1			1		2	
四類感染症	つつが虫病									1					1	
	レジオネラ症								3		3	1	6		13	
五類感染症	アメーバ赤痢										1		1		2	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症			1				1			1	1	2		4	
	急性脳炎										2				2	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1				1	2		4		4		10	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症												1		1	
	侵襲性肺炎球菌感染症										1		3		4	
	水痘（入院例）												1		1	
	梅毒								2		4	2	13		21	
	播種性クリプトコックス症												2		2	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症												1		1	
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ										1				1	
	RSウイルス感染症			6		2		8	28	18	228	56	281		611	
					0.75		0.20		0.28							
	咽頭結膜熱		1		2			3	25	14	110	7	35		191	
			0.25		0.25			0.10								
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			3		1		4	21	9	72	21	135		258	
					0.38		0.10		0.14							
	感染性胃腸炎		11	13	26	22	53		125	338	408	969	371	1,164		3,250
			2.75	4.33	3.25	5.50	5.30		4.31							
	水痘									5	19	1	16		41	
	手足口病				6			6	1	8	52	3	47		111	
					0.75			0.21								
	伝染性紅斑								1		4	1	1		7	
	突発性発しん				3	1	2		6	10	9	53	14	37		123
					0.38	0.25	0.20		0.21							
ヘルパンギーナ		1		1				2	39	7	22	1	6		75	
		0.25		0.13				0.07								
流行性耳下腺炎				1				1	1		3	1		5		
				0.13				0.03								
流行性角結膜炎		1						1	7	2	1			10		
		1.00						0.14								
細菌性髄膜炎											1	1		2		
マイコプラズマ肺炎											1			1		
インフルエンザによる入院患者（※3）											3	1		4		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 県報道資料の判明日調査中は、公表前日を判明日とした暫定値です。 ※2 その他は県外、居住地非公表分です。

※3 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和3年第36週(9月6日)～の集計です。